

1. 事業の位置付け

事務事業名	支援教育等の推進・充実事業		
事業担当	学校教育部 子ども教育相談センター		
予算科目	01-100107-030000	事業種類	○ ハード ● ソフト
総合計画の位置付け	01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	01	①〈人間力〉 一人一人の心のやさしさ、学ぶ意欲、生きる力をはぐくむ	
	04	4 子ども時代に生きる力を身につける環境をつくる	
根拠法令等			
対象・受益者	児童・生徒、教職員	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
不登校や特別な配慮が必要と思われる児童・生徒の教育ニーズに応じた支援体制が整備され、きめ細かな指導が行われています。		不登校や特別な配慮を必要とする児童・生徒を支援するため、支援体制の整備を推進するとともに、必要に応じて相談員などの派遣や各種研修会・研究会を実施します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	相談支援チームの派遣回数						単位	回
	説明・算定式	-							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			40	40	40			
活動指標②	指標名							単位	
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績								
成果指標①	指標名	相談支援チームが対応した児童・生徒数						単位	人
	説明・算定式								
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			160	160	160			
成果指標②	指標名	相談支援チームに係る学校評価						単位	点
	説明・算定式	「相談支援チームの派遣により、校内支援体制づくりに効果があった」とする評価（5段階）の、派遣している全小中学校の回答の平均							
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標実績			-	3.6	3.7			
進捗状況	①：予定どおり								
	遅れている理由								
平成19年度の主な取組と成果									
研修会の開催や相談支援チームを派遣することにより、支援教育への理解を深め、支援体制づくりの整備に結びついた。									
平成19年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	特別な配慮を要する児童・生徒が増加しているため、支援体制づくりは重要度が高い。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	支援教育の理解を深め、支援体制を整えていくことが児童・生徒への支援につながり、より適切な指導を行うことができる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	支援のあり方をさぐり、特別な配慮が必要な児童・生徒へよりよい支援が行われる。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	適切な支援を行うことで、児童・生徒への指導がより効率的・効果的に行われている。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析 支援教育の理解を進め、支援体制づくりを整えることが求められている。				

3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				相談員などの派遣、各種研究会などの開催	相談員などの派遣、各種研究会などの開催	相談員などの派遣、各種研究会などの開催		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	1,890	1,739	2,902	0	0
事業費 (A)		0	0	1,890	1,739	2,902	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	69.87				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	1.25	1.25	1.25	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	10,489	10,489	10,489	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	12,379	12,228	13,391	0	0

4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成21年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<判断理由> 特別な支援を必要としている児童・生徒の教育ニーズに応じるために、支援教育の理解や体制づくりは必要である。	
平成21年度の実行方針	
支援教育の理解や体制づくりにつとめていくために、相談支援チームの派遣や研修会等の充実を図る。	
課長コメント	研修会の開催や相談支援チームの派遣により、支援教育への理解を進めるとともに、支援体制づくりの充実に結びついていくと考える。